

## 国の機関等による国際会議等の北海道開催実績（2017年度）

	会議名	主催者	開催時期	開催場所	会議の概要	参加人数
1	北太平洋漁業委員会（N P F C）第2回技術・遵守委員会、第1回財政運営委員会、第3回委員会会合	水産庁	2017年7月10日～15日	札幌市	北太平洋公海における漁業資源の国際的な管理等について議論。	80名
2	2017寒地土木研究所および釜慶大学地質環境研究所による国際共同シンポジウム	国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所（共催：釜慶大学地質環境研究所（韓国））	2017年7月25日	札幌市	日本及び韓国の地盤環境の調査及び評価手法に関する研究に携わる研究者の技術情報の交換を目的として開催。	38名
3	2017 International Workshop on Lessons Learnt and Challenges from Forest Long-term Ecological Research (LTER) in the Northeast Asian Region (2017国際ワークショップー北東アジアにおける森林生態系長期モニタリング研究からの教訓と挑戦ー)	国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所（IUFRO working Party 1.01.13、ソウル大学）	2017年8月30日～31日	札幌市 苫小牧市	森林生態系長期モニタリングに関する研究発表・討議。モニタリングサイトでの現地検討会。	14名
4	中国・国家石油備蓄センター（NORC）との石油備蓄基地管理・運営に係る研修における現場研修	独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構	2017年9月11日～15日	苫小牧市	石油備蓄基地管理・運営に係る研修における現場研修。	13名
5	先住民国際シンポジウム「アイヌ文化復興に向けて～ニュージーランドから学ぶこと～」	内閣官房アイヌ総合政策室、国土交通省	2017年11月25日	札幌市	2020年4月一般公開予定の民族共生象徴空間の意義やアイヌ文化の魅力等を共有し、国際的な協力体制の構築を図るとともにアイヌ文化復興の動きとその理解を深める目的として開催。	200名程度
6	ASEAN+3財務大臣・中央銀行総裁代理会議	財務省	2017年12月11日～13日	旭川市	ASEAN+3各国の財務省と中央銀行の次官級会合。	165名
7	日中韓水産研究機関長会議	国立研究開発法人水産研究・教育機構	2017年12月17日～20日	札幌市	水産研究に関する三カ国研究機関長による会合。	27名
8	第3回日・ASEAN航空協定交渉会合	外務省・国土交通省共催	2018年1月23日～25日	札幌市	日本およびASEAN加盟10カ国参加の航空協定に関する会議。	35名

出典：国土交通省北海道局調べ

注1：国の機関等とは、各省庁、地方支分部局、各省庁が所管する独立行政法人、特殊法人などのことを指す。

注2：本資料の「国際会議等」は参加者総数10名以上、参加国数は日本を含む2カ国以上を対象としている。